



興 照 寺 報

令和7年3月

86号



発行 浄土真宗 興 照 寺

〒890-0045 鹿児島市武1丁目25番12号

電話 **099-254-3269** (代)FAX 099-254-0303

URL <https://take-koshoji.com/>



令和6年12月報恩講法要の様子

古希を迎えた心境

「健康だったら

力一杯 精一杯 自分のつとめに精進するのだ

病気になつたら

医者にかかつて養生するのだ

もしも死んだら

極楽浄土へ往生するのだ

何というすがすがしい

生き方だろう」

「わずか今日一日の 旅路にも

浮世の嵐は吹いていた

苦難の渦も巻いていた

立てようなら 腹立つことは 山ほどあった

言おうなら 不足を言う因も ウンとあった

泣こうなら 泣くべきことは イヤほどあった

しかし さほど腹も立てず 愚痴も言わず

泣きもしないで 愉快に過ごした

希望に燃え立ち 感謝に溢るる

とてもたのしい一日だった

生まれてきて よかったと思う」

この二つの詩は、法蔵館社発行の「日々の糧」という本の中にあります。

〈二つ目の詩の最後の「一日」を『人生』に変えて読んでみる。全く同感である。〉

これが古希を迎えた私の心境です。

(住職記)

報恩講

令和6年12月『興照寺報恩講法要』無事勤まりました。

今年もお齋の提供があり、“お齋の意味”を知る事もできました。浄土真宗で最も大切とされている法要である報恩講法要ですが、参拝される方が年々減ってきていることも事実です。

寺としましても、時代に合ったやり方を模索して参りますので多くの方のご参拝をお待ちしております。



お齋を
美味しく
頂きました!

おみがき



令和6年12月本堂お内陣の仏具のおみがきを行いました。

今回は12名の方に参加して頂き、1年のすす汚れをきれいに落としました。本館会館入口や正面大型窓ガラスなども掃除をし、そのあとは参加者全員で、肉まんやあんまんをほおばりました。

年末は興照寺で鐘つきを♪

令和6年12月31日に除夜会お勤め後、除夜の鐘つきを行ないました。一昨年より深夜の鐘つきをやめて、15時からにしたところ、お子様連れも含めて今回は200人近くの方にお越し頂きました。

お菓子コーナーや本館1階研修室に遊びスペースを設け、子どもたちの元気な声が響く年末でした。

高齢の方や小さなお子さんでも気軽に鐘をつけるように本堂にも鐘を設置したことも好評で、鐘つき初体験の方も多く大人も子どもも、写真を撮られる方が続出でした!

『年末は興照寺で除夜の鐘つきを♪』是非お越しください。(年末納骨堂のお参りのついででも構いません。)



バルーンや輪投げで遊んだよ♪



興照寺インスタグラム



興照寺では、上記法座、イベント行事の案内や様子をInstagramにアップしています。右のQRコードからもスマホでアクセスできますので、是非ご覧ください。

現在、門徒さんに限らず、宗派を超えて全国の色々なお寺やお寺好きの一般の方々など様々な方に、フォロー頂いております。今後もより多くの方に、興照寺のこと、浄土真宗のことをお伝えできればと思っています。



TAKE_KOUSYOUJI

「死にたくない」と思うことは当たり前。 「死ななければならない」という事も当たり前。



この当たり前を素直に受け入れることはなかなか難しいことですが、親鸞聖人は次のような内容のお手紙を文応元年頃、関東在住の門弟に送られています。

『生まれれば、死ななければならない。しかし、いつ、だれが、どのように死んでいくかはわからない。生死無常のことわりは、お釈迦さまが詳しく説かれたことなのだから、驚くようなことではない。』（「親鸞聖人御消息」第16通より）

この手紙を出された文応元年頃の日本は、飢饉、災害、地震、疫病が頻発したといわれています。

現代に生きる私たちも様々な災害や感染症を経験していますが、私たちの想像を超えるような厳しい現実が親鸞聖人が生きられた時代にあり、今のように医療も薬も発達していない時代ですから、多くの人々にとって「死」を前にした悲しみ、苦しみが、私達が思っている以上に、日常を支配していたことでしょう。

そのような中でも「驚くことではない」との仏さまのことばを、親鸞聖人は真摯に受け止めておられたように感じます。同時に仏法に出遭うことの大切さも述べられているのではないのでしょうか。

別紙ご案内の通り、興照寺では毎月何かしらの法座が開催されます。

“今” 生きている事は当たり前ではない。

気軽にふらっと法座に参加されて、“仏さまのことば” を聞いてみるのもいいかもしれませんね。
(明彦記)

【出演者募集】寺でのイベントで披露できる一芸をお持ちの方

今後、寺でイベントをする際に、披露できそうな特技や趣味をお持ちの方はいらっしゃいますか？ご本人でなくても、ご家族の方でも構いません。ご紹介いただけませんか？

過去には、花まつりや降誕会、六月灯時に、本堂で、門徒さん方に歌や舞踊、楽器演奏等を披露して頂きました。演目披露したいという方がいらっしゃれば、電話かメールか直接寺務所までお申し出ください。

尚、出演の可否については法座、イベントの趣旨と照合し、寺で決めさせていただきます。形となりますので予めご了承ください。



令和6年石川県能登豪雨災害義援金についてのお礼とご報告

令和6年10月1日から12月31日までに当寺本堂の賽銭箱に頂いた浄財総額105,566円を義援金として石川県へ寄付致しました。

他にも皆さんに折って頂いたコマの折紙を珠洲市・輪島市両社会福祉協議会に計1,300個、鹿児島市立病院に200個寄贈いたしました。

皆さまのご協力、温かいお気持ちに心から感謝申し上げます。



【生前申込】多段式納骨壇／合同納骨室のご案内



○ 多段式納骨壇、合同納骨室は継承者がいらっしゃらない方が対象です。

- ・ 独り身なので生前に自分でお墓を決めて安心したい
- ・ 継承者がいないから新しいお墓は作れない…
- ・ 子供が遠方に住んでいて将来のお墓の継承や維持管理が難しく、子や孫に迷惑をかけたくない…
- ・ 現在、興照寺納骨壇を使用しているが先々の継承者がいない…など

このようなお悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか？

当寺には継承者がいらっしゃらない方を対象とした多段式納骨壇、合同納骨室を本堂改築後、新設いたしました。

関心をお持ちの方や何かご相談等あれば、寺までお問い合わせください。更に詳しい内容が書かれたパンフレットをお渡しし、ご説明させていただきます。



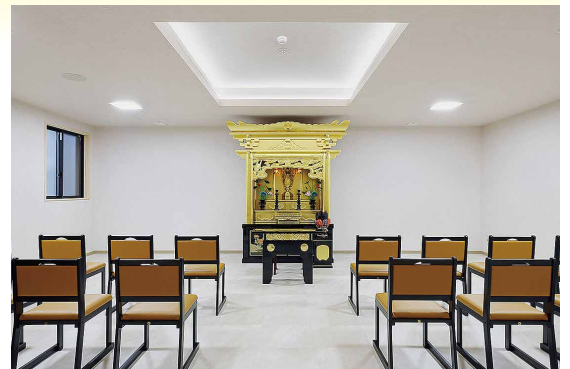
多段式 (ロッカー式) 納骨壇

門徒限定

空き (中古) 一段式納骨壇のご案内

お申込み対象者は “継承者がいらっしゃる方” で “過去2年以上門徒費を完納頂いている既存の門徒のみ” となります。

令和7年2月現在、約20組の方が順番待ちの状態です、空きが出た場合、業者によるクリーニング後、順次ご案内しております。関心をお持ちの方は直接お問い合わせください。



合同納骨室 (本館2階法要室ご本尊の裏)

アメリカの大統領にトランプ氏が再び就任しました。世界はこれからどうなっていくのでしょうか。自分の国が繁栄することを優先することは理解できますが、”自分の国だけ”でいいのでしょうか。仏教は”利他”を説く教えであり”和”を重んじる教えです。手を取り合って進んでいきたいものです。

(住職記)

あ) と) が) き)

寺務所受付対応時間、開館時間



- 興照寺 寺務所 (興照寺本館1階)
寺務所受付対応時間：午前9時～午後5時
(事前にご連絡あれば時間外でも対応可)
- 興照寺 納骨堂【本館(3階)、会館(3～7階)】
納骨堂開館時間：午前8時～午後6時
(8月13日～15日は午前8時～午後8時)
- 墓じまい等のご相談が増えてきております。お墓に関する事でまず大切な事は、“関係するご家族、ご親戚としっかり話をする”ことです。後々、トラブルにならない為にもまずはしっかりお話し合いをしていただく事をお奨めします。